



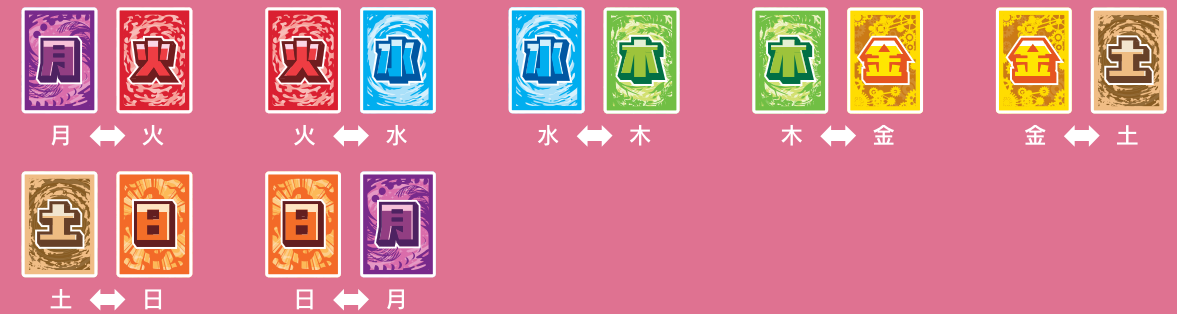
● プレイ人数：2～6人 ● プレイ時間：10分 ● 8才～

「月火水木金土日」いずれかの曜日が書かれたカードを、曜日がつながるように出していき、手札を無くしたプレイヤーが勝利するゲームです。

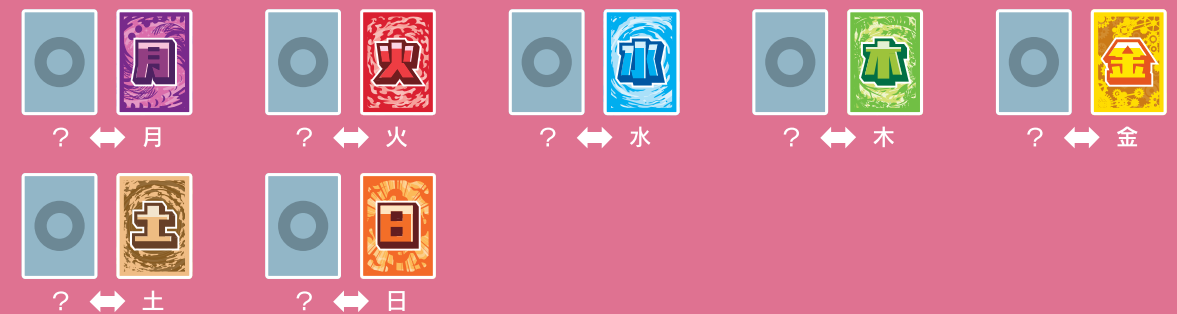
カードには、隣り合った曜日が表裏に書かれた両面カードと、曜日が片面だけに書かれた片面カードがあります。両面カードは相手の手札を予想できるので、相手に上がられないように手札を出す駆け引きを楽しむことができます。

● セットの内容

両面カード・・・7種類×6枚



片面カード・・・7種類×2枚



両面カードについて

両面カードは連続した曜日が表裏になっています。例えば「月」カードの裏面は「火」か「日」のいずれかです。両面カードに表裏の区別はありません。

各カードの特徴

両面カードは対戦相手にヒントを与えてしまいますが片面カードより出しやすく、片面カードは、ヒントは与えませんが出しにくい特徴があります。



準備

- 1：曜日が片面に描かれたカードは「？」の面が裏になるように山札を整えて、良くシャッフルして下さい。
- 2：各プレイヤーにカードを5枚ずつ配ります。
- 3：適当な方法でスタートプレイヤーを決めます。
- 4：山札の一番上のカードを裏返して、最初の場のカードにします。



これで準備は終わりです。

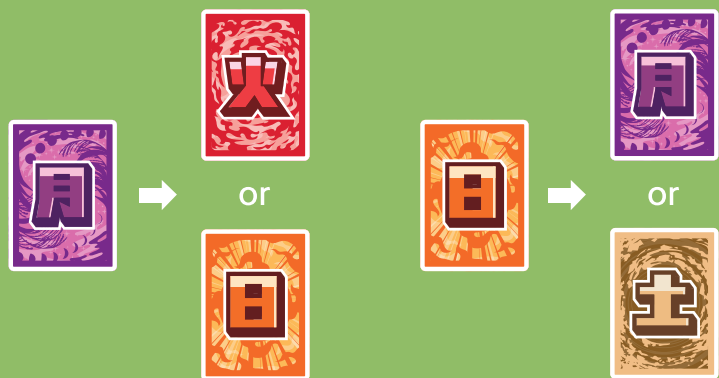
あそびかた

スタートプレイヤーから、時計回りの順番で手札を出していきます。
一番早く手札を無くしたプレイヤーが1位、最後まで手札が残ったプレイヤーが最下位です。
(手札が無くなったプレイヤーはゲームから抜けます。)

「連続出し」で手札を無くすことはできません。
つまり手札が1枚の時だけ、あがるチャンスがあります。
複数回遊ぶ時は、順位に応じて得点をつけると良いでしょう。

手札を出す

場に最後に出されたカードの曜日につながるカードを出すことができます。
場のカードが「月」であれば「火」か「日」のカードを出すことができます。
「日」であれば「月」か「土」のカードを出すことができます。
手札を出したら次のプレイヤーの手番となります。



連続出し

場のカードが「月」であれば、明日方向の「火」「水」「木」または、昨日方向の「日」「土」「金」のように、同じ方向に連続した曜日3枚までを、1回の手番で出すことができます。
場のカードと同じカードは出せないことに注意してください。
また連続出して手札を0枚にすることはできません。

(例)

場のカードが「月」の時にらせるカード。

- ・明日方向 「火」 / 「火」「水」 / 「火」「水」「木」
- ・昨日方向 「日」 / 「日」「土」 / 「日」「土」「金」

(NG例)

- ・「火」「月」 …… 明日方向に揃っていません。
- ・「日」「月」 …… 昨日方向に揃っていません。
- ・「日」「火」 …… 方向も揃わず、曜日も連続していません。

OK



NG



パス

カードを出せない場合、もしくは出したくない場合は「パス」をします。パスをした際には山札から1枚のカードを引いて手札に加えて、手番を終了します。

手札の裏面について

各プレイヤーは他のプレイヤーの求めに応じて、手札の枚数を知らせ、全てのカードの片面を見せなくてはなりません。どちらの面を見せるかは、カードを見せる側が自由に決めて構いません。